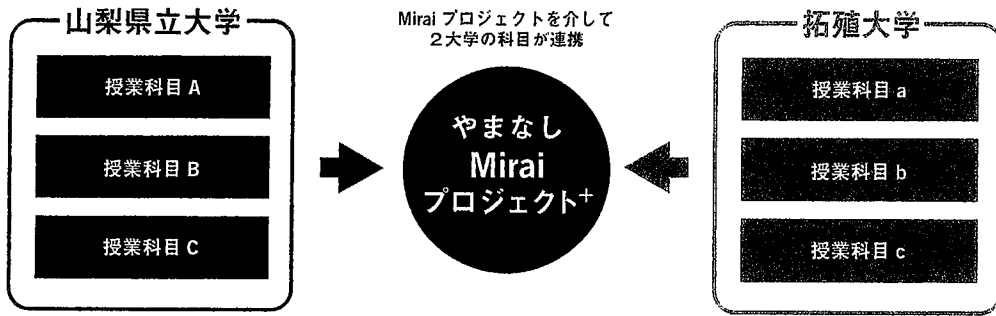


[やまなし Mirai プロジェクト+とは]

山梨県内各地をフィールドに、山梨大学と拓殖大学が連携しながら実施するPBL（課題解決型授業科目）です。参加学生は、地元企業・団体と協働により与えられた課題に取り組むことを通じて、専門性を磨くとともに、社会人として求められる様々な力（社会人基礎力）を身につけます。



この取組は、内閣府「地方と東京圏の大学生対流促進事業」の一環として行われています。

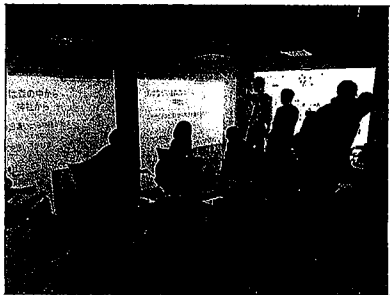
【目的】東京圏と地方圏の複数の大学が学生の対流等に関して組織的に連携するとともに、東京圏の学生にとって地方の特色や魅力等を経験できる取組を推進することで、地方への新しい人の流れを生むとともに、地域に根差した人材の育成を図り、地方創生の実現につなげることを本事業では目指しています。

【まち・ひと・しごと創生本部WEBサイト】

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/tairyuu_sokushin/index.html



[Mirai プロジェクト一覧]



産学連携した新しい山梨のお土産開発プロジェクト

県：課題演習Ⅰ・Ⅱ 拓：国際特別講座「実践のまちづくり」

NEXCO 中日本との協働により、談合坂サービスエリアで販売するお土産の開発を行う。開発を通じて、学生は商品企画、販売についての知識と技術を身につける。

まちづくり合同ゼミ

「新しい地方創生のカタチづくり」プロジェクト

県：地域実践入門Ⅰ・Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：ゼミナール(2年生～4年生)

富士川町を活動拠点として学生が地方創生に主体的に取り組む新しいカタチ作りを行う。学生が核となり行政、商工会、NPO 団体、中高生たちを巻き込み行動する事で地域住民の主体的な地方創生の取り組みを促し、住民の幸福度に寄与する事を目的とした継続的な地方創生プラットフォームの構築を目指す。



最先端の農業技術導入に向けた農家連携プロジェクト

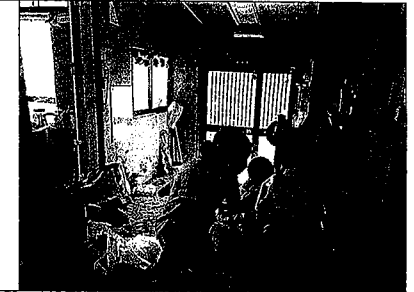
県：地域実践入門Ⅰ・Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：農業入門演習Ⅰ・Ⅱ

本プロジェクトの目的は、農産物の輸出拡大と世界最先端の農業技術の導入を目指し、東京と山梨の農家の連携を支援することである。農業技術に関する情報交換、農業に関する事業化、輸出の実践、情報発信の場づくりや、農業体験インバウンドツアーの企画等を実施する予定である。

空き家で「つながる住まい」プロジェクト

県：地域実践入門Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：デザインプロジェクト・演習

甲府市中心部の空き家を活動拠点に学生主導の地域コミュニティの核となるような新たな空き家活用の提案を行う。また本活動をより一般化し、今後の地方都市での空き家活用問題に対して大学(学生)からの提案を行うための基となる知見を得、地域コミュニティの幸福度に寄与する活動へと繋げる。



芦川活性化えんさプロジェクト

県：地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：デザインプロジェクト・演習

大学生を中心に若者世代視点で、兜造り家屋や田舎らしい暮らしが残る芦川町の地域資源を発掘し、交流拠点を整備し、縁側カフェ、軒先直売などのプログラムを作りだす。それにより、地域の経済活性化と人の交流を促進する。(えんさとは甲州弁で縁側の意)

笛吹市ひみね地区活性化プロジェクト

県：地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：国際特別講座「実践のまちづくり」

ひみね地区における観光客の増加に向けた取組や、地域活性化のための各種事業の推進や事業メニューの構築を行う。



Lab Prisma プロジェクト

県：地域実践入門Ⅰ・Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：デザインプロジェクト・演習

地元企業や地域の魅力(=情報)を発見し、それらを写真、映像、グラフィック制作によって可視化して様々なメディアで発信するためにブランディングや各種イベントのプロデュースなどを行う。それにより、映像制作にかかる専門的なスキルの習得や、プロデュース力の強化を図る。

県：山梨県立大学農学部 拓：拓殖大学農学部

2019年度・教員業績評価について

第1 教員業績評価の目的

教員業績評価は、教員一人ひとりの教育研究活動等の状況を把握し、それらを適切に評価することにより、全ての教員の自主的・自律的な活動内容の改善を促進し、もって山梨県立大学の諸活動の向上と活性化を図るとともに、大学の社会に対する説明責任を果たすことを目的として行う。

第2 評価対象となる教員

評価対象者は、専任教員（教授、准教授、講師、助教、助手）とする。

ただし、学長は、第6の評価対象期間の全期間又は一部の期間、休職、休業、教員特別研修中である者については対象としないことができる。

第3 評価者とその役割

学長 学部長・研究科長の行った一次評価の結果を踏まえ、最終評価を行う。

学部長・研究科長 一次評価を行い、個々の教員の評価結果並びに評価に当たり使用した評価項目及び評価基準を学長に提出する。

教員 第4において各学部・研究科が定める評価項目及び第5において各学部・研究科が定める評価基準に基づき自己評価を行い、学部長・研究科長に提出する。

第4 評価の柱・項目

評価は、「教育」、「研究」、「社会貢献」及び「学内運営」の分野に関する業績について評価する。

評価項目は別紙「評価項目一覧」に掲げるものを標準とし、学部・研究科がそれぞれ定める。

第5 評価の基準

評価基準は、各学部・研究科が定める。

第6 評価対象期間

評価対象期間は、評価を行う年度の前年度1年間とする。

ただし「研究」については、学部・研究科の判断で5年以内の業績で評価することができる。

第7 評価方法

教員は、評価を行う年度の前年度末までにアカデミック・ポートフォリオ（大学ホームページ上の教員プロフィールをいう。以下同じ。）へ評価に必要な業績を記

載するとともに教員自己評価書を作成し、評価を行う年度の7月末までに自己の所属する学部長・研究科長に提出するものとする。なお、アカデミック・ポートフォリオに記載することが適当でない（公表を禁じられている委員としての活動など）活動については、教員自己評価書の「5 その他特記事項」欄に記載することができる。

学部長・研究科長は、各教員のアカデミック・ポートフォリオに記載された内容、教員自己評価書及び評価項目に関する資料をもとに、9月末までに各学部で定める評価項目と評価基準に基づき一次評価を行い学長に提出する。一次評価は、4つの分野ごとに3段階（S：特に優れている、A：良好である（標準）、B：努力が必要である）で評価したうえで、さらに全体を総合して3段階（S,A,B）により評価するものとする。

学長は、学部長・研究科長が行った一次評価を参考に、3段階（S,A,B）により11月末までに最終評価を行う。

第8 評価結果の通知、不服の申し立て

学長は、教員業績評価の結果を各教員に対して通知する。

教員は、学長の行った最終評価に不服がある場合には、通知を受け取った日から15日以内に学長に対し不服を申し立てることができる。

学長は、不服の申し立てを受理したときは、学長、理事（評価担当）、各学部長及び研究科長からなる教員業績評価審査委員会を開催し、当該教員の評価結果について審査を行う。学長は、申し立てを受理した日から30日以内に審査を終え、その後速やかに結果を本人に通知するものとする。

教員業績評価審査委員会の運営に関する事項は別に定める。

第9 評価結果の利用

評価結果は、学長表彰、教員特別研修派遣者、学長配分の個人研究費、昇任、昇格、給与の決定等に利用することができるものとする。

第10 評価結果の公表

教員個人に係る評価結果は、原則として本人以外には公表しない。

教員個人の評価結果を集計し、分析した結果については外部へ公表する。

第11 その他

学長は、学部長及び研究科長の意見を参考に、評価制度に関し必要な見直しを行うことができる。



求人機関ページへ求人公募情報登録・一時保存管理

求人公募情報登録・一時保存管理

情報履歴

※特に「募集期間」に限りがないためご確認ください。

※個人情報等を流出させないよう、許可を授けていない個人情報等が募集内容や添付ファイルに含まれていないことを事前に確認してください。

情報を確認して、「登録依頼」ボタンをクリックしてください。

言語 Language	英語のみ
公開開始日 Date of publication	2019年02月05日
求人名称 Title	日本語 Yamanashi Prefectural University, Faculty of Global Policy Management & Communications Lecturer or associate professor (determined by education and experience)(tenure track)
機関名 Institution	日本語 Yamanashi Prefectural University
機関所在地 URL of institution of department	日本語 http://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/department English http://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/corparation/careers
部署名 Department	日本語 Faculty of Global Policy Management and Communications
機関種別 Institution type	日本語 Public university
公募URL Job posting URL	日本語 http://www.yamanashi-ken.ac.jp/info/corparation/careers English /gpl_teacher
求職内容 Content of job information	日本語 Yamanashi Prefectural University, Faculty of Global Policy Management & Communications seeks applications from English qualified candidates for one full-time, five year (tenure-track) position for teaching English classes to undergraduate students commencing on October 1st, 2019.
研究分野 Research field	日本語 大分類 English Humanities 小分類 English Linguistics 日本語 大分類 English Humanities 日本語 小分類 English Others Humanities その他 English TESOL
職種 Job type	1. 日本語 English Associate Professor/Lecturer (full-time) level 日本語 2. English Assistant Professor level
勤務形態 Employment status	常勤 (フルタイム) 日本語 The contract is for five years, and the candidate's advancement to English' tenure will be determined prior to the completion of the contract. Retirement age is 65.
勤務地 Work location	[Hokuriku and Koshinetsu district] Yamanashi 日本語
必要資格 Qualifications	日本語 [Details of required special expertise, qualification of the specific fields or degrees, etc.] English 1) M.A. in TESOL related discipline

求職者照会メール

求職メールはありません

応募管理

求人公募情報の
応募状況確認

求人機関メニュー

- 求人公募情報管理
 - 登録・一時保存
 - 修正・一時保存
 - 登録/修正依頼中の求人公募情報
 - 取り下げ
 - アクリビエ登録既
 - 求職者情報検索・求職者照会メール送付
 - 求職者照会メール送付履歴及び返信の参照
 - アカラント検索
 - 登録情報確認
 - パスワード変更
 - 退会

JREC-IN Portal
活用方法紹介

No. 29

(J-REC IN)

外国人教員募集

	<p>2) At least 3 years teaching at the university level, preferably in Japan. 3) Candidates with Japanese language skills are preferred. 4) Must be a native speaker of English or have a similar level of proficiency.</p>
<p>報酬 Compensation</p>	<p>日本語 [Details of salary, holiday, etc.]</p> <p>[Salary etc.] Salary will be calculated according to the university scale based on position, education and experience.</p> <p>[Holiday etc] Sundays, holidays, designated holidays by university ※ However, if there are classes, supplementary classes, entrance examinations, university events, etc., this is not the case</p> <p>[Insurance] Occupational accident insurance</p>
<p>募集期間 Application Period</p>	<p>日本語 2019年05月10日 必置 English</p>
<p>添付書類 /Notification of Application Details</p>	<p>日本語 [Application Materials] (1) Personal record, 6 copies (Faculty Form 1, attach a color photograph) (2) Educational research achievement letter 6 copies (Faculty Form 2) ※Please use the attached formats designated by Yamanaishi Prefectural University. (3) 3 examples of your published works (6 copies each) included in (2) above. ※ In the case of thesis, one copy only. ※ In the case of books, one copy only. (4) Copy of diploma (5) Cover letter that includes the applicant's reason for applying and email address and mobile phone number (no format specified)</p> <p>※Please comply with the following notes when submitting the above documents.</p> <p>[Selection process (selection method and hiring decision), notification of result] (1) First screening document review (2) Secondary screening interview/simulated lecture (Travel expenses will be borne by the applicant) (3) The selection results will be sent by letter.</p> <p>English [Important Reminder] (1) Please write in red on the envelope "Application for English faculty position" (2) Application documents will not be returned as a rule. If you wish them returned postage fees will be the applicant's responsibility. ※In such situations, please make this request clear and include a self addressed envelope with necessary postage. (3) Documents submitted are strictly kept and managed, and after completion of the review, they will be disposed. ※In addition, personal information included in the document is based on the Yamanaishi prefecture personal information protection ordinance and will not be used for any other purposes.</p> <p>[Others] Please contact us via e-mail if needed. We do not answer any inquires over the phone.</p> <p>[Contact details (Department, official position, name, e-mail address, and phone number of the responsible person)] * Important Kenji Sugiyama (Mr.) General Affairs Office, Yamanaishi Prefectural University Iida Campus 5-11-1 Iida, Kofu-City Yamanaishi, 400-0035 TEL: 055-224-5261 FAX: 055-228-6819 Email: soumu@yamanaishi-ken.ac.jp</p>
<p>添付書類 Attached documents</p>	<p>日本語 1. C.V. Educational/Academic Achievements(Faculty of English Global Policy Management&Communications)2sheets.xls</p>
<p>備考 Additional Information</p>	<p>日本語 English</p>

学年進行とキャリア形成・キャリアサポートの流れ

授業: キャリアデザイン(I,II,実践): 自分のキャリアを自分で考え、行動に移せる力をつけます

授業: 「COC+」と連携した実践(インターンシップ、フィールドワーク、学外交流)で様々な体験をします。

キャリアサポートセンター(CSC): 学生個人の進路希望を具体的に支援します

クラス担任・ゼミ担当教員: 個々の学生の希望に寄り添い、学生をキャリアサポートセンターにつなぎます。

			1年次	2年次	3年次	4年次
国際 政策学 部・人 間福祉 学部	通年 ・随時	CSC	○CSCオリエンテーション ○進路・就職相談 ○キャリアポートフォリオ作成・活用の指導と支援			
			《就職活動支援》			
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 就活情報の提供 ・ 求人情報の提供 ・ ヤングハローワーク出張相談 ・ ショブカフェ出張相談 ・ 合同就職説明会・企業セミナー等各種情報の提供 			
	前期	授業	《就職試験対策講座》 公務員(行政・福祉) / 教職 / 企業			
			○クラス担任・ゼミ担当教員による学修・進路他学生生活全般の支援			
			キャリアデザインI (JIBUNデザインワークショップ)	キャリアデザインII (JIBUNデザインワークショップ)	キャリアデザイン実践 (合同JIBUN説明会)	
後期	授業	導入科目・ゼミ科目へのCSC出前授業・キャリア形成フォローアップ				
	CSC	《就職セミナー：就活基本講座》 《就活キックオフ》 エントリーシート講座・面接講座・集団討論講座・マナー講座など就活スキルのアップ				
看護 学部	通年	○ 進路・就職相談 看護専門相談員による相談 ○ 病院等説明会 ○ チューター制(教員による学修・進路を含めた学生生活全般の支援(少人数グループ))				
	前期			《キャリアガイダンスSTEP3》 ・ 卒業生との意見交換会	《キャリアガイダンスSTEP5》 ・ 国家試験について ・ 就職活動マナー講座	
	後期	《キャリアガイダンスSTEP1》 ・ キャリアについて ・ 支援体制について	《キャリアガイダンスSTEP2》 ・ 就職活動までの情報収集 ・ インターンシップについて ・ 県内施設情報の提供	《就職試験対策講座》 保健師/養護教諭	《キャリアガイダンスSTEP4》 ・ 施設見学参加におけるポイント ・ 内定学生との意見交換会	

キャリア授業履修モデル(自分に合ったモデルを作ろう)

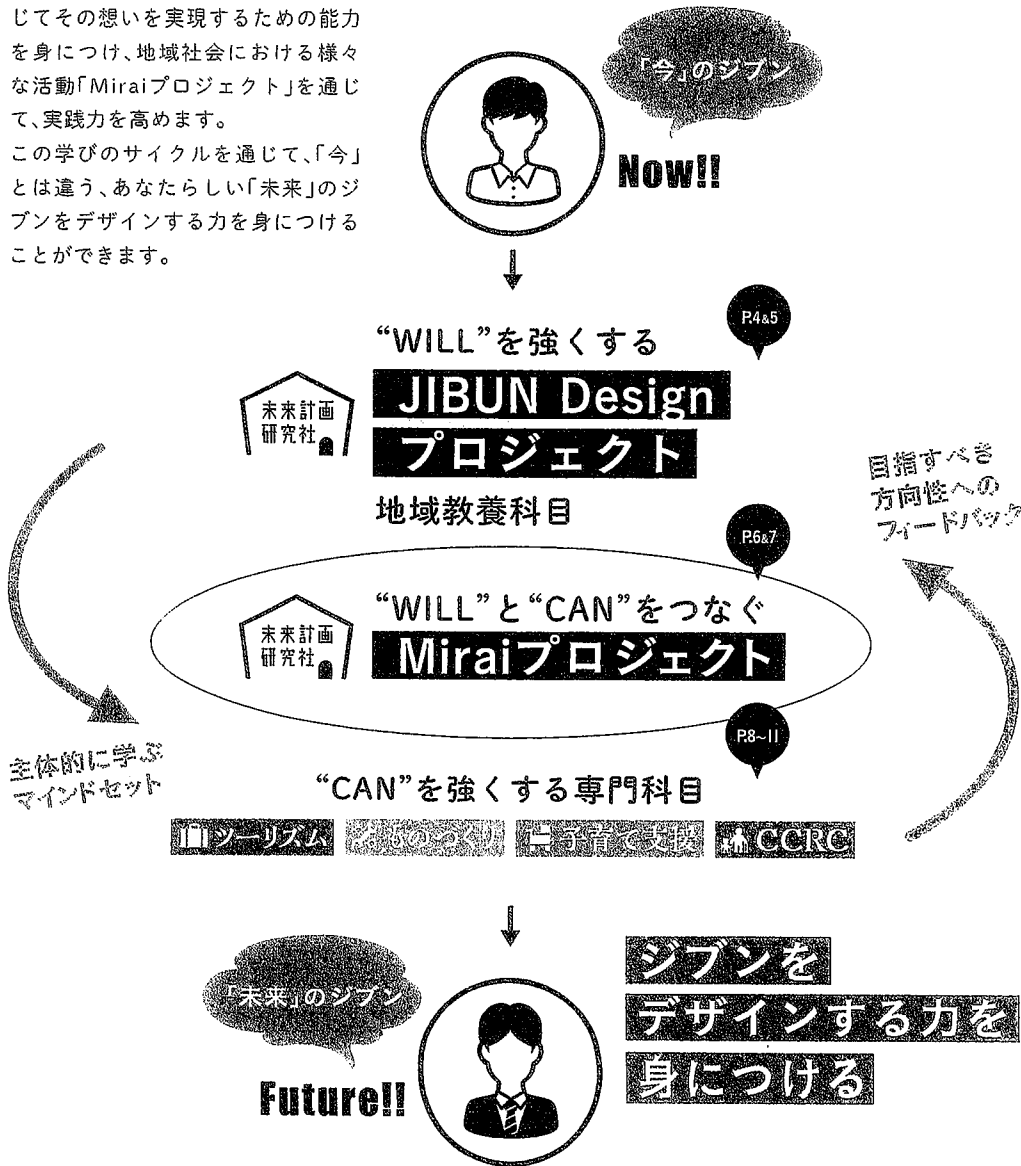
		1年前期	夏休み	1年後期	2年前期	夏休み	2年後期	3年前期	夏休み	3年後期	4年前期	夏休み	4年後期	卒業後	
1年次開始型(ゆっくりじっくり、万全を期す)	授業	キャリアデザインI			キャリアデザインII			インターンシップ		キャリアデザイン実践				卒業後も随時サポート・いつでも(なんでも)相談を!	
	各種講座			内定者懇談会・インターンシップ報告会			内定者懇談会・インターンシップ報告会	就活基本講座・各種講座・模擬試験							
	実践	jibunデザインWS	セミナー参加・o.d.インターンシップ		jibunデザインWS	セミナー参加・o.d.インターンシップ		インターンシップ		就活始動	就活・内定・進路決定				
	目標・内容	将来に向きあう		目標設定に着手	設定目標の調整・情報の収集・実現への行程をデザイン・準備する										
	気分転換	キャリアサポートサロンで悩みをシェア、就活情報交換、個人面談で悩みを相談・解決、有益情報のGet													
	目標設定済型	長期的準備への着手(国家資格・国家公務員・地方上級・その他資格)／留学・進学 ^{*1} の準備と実施										採用試験・国家試験			
2・3年次開始型(そろそろ始めるか)	授業(2年～)	「充電中」			キャリアデザインII			インターンシップ		キャリアデザイン実践				卒業後も随時サポート・いつでも(なんでも)相談を!	
	授業(3年～)	「充電中」						インターンシップ		キャリアデザイン実践					
	各種講座						内定者懇談会・インターンシップ報告会	就活基本講座・各種講座・模擬試験							
	実践	jibunデザインWS	セミナー参加・o.d.インターンシップ		jibunデザインWS	セミナー参加・o.d.インターンシップ		インターンシップ		就活始動	就活・内定・進路決定				
	目標:2年次始まり(少し忙しい)				将来に向き合い・目標を設定・設定目標の調整・情報の収集・実現への行程をデザイン・準備する										
	目標:3年次始まり(忙しい)				将来に向き合い・目標を設定・設定目標の調整・情報の収集・実現への行程をデザイン・準備する										
4年次開始(わけあって遅延することだってある)	気分一新、ぶらっと	キャリアサポートサロンで悩みをシェア、就活情報交換、4年の3月まで求人はある													
	実践・サポート	「充電」完了→まだ間に合う! キャリアサポートセンターへ行こう									個人面談で悩みを相談・解決、就活の基本の個人指導、有益情報のGet				

*1留学は国際教育研究センターへ、大学院進学はゼミ担当教員とキャリアサポートセンターへまずは相談。

あなたは、将来どんなジブンになりたいですか？その答えを見つけるために、「やまなし未来創造教育プログラム」があります。

地域教養科目を通じて地域や自分自身への理解を深め、自分の中にある「やってみたいこと」を見つけます。そして、コース別の「専門科目」を通じてその想いを実現するための能力を身につけ、地域社会における様々な活動「Miraiプロジェクト」を通じて、実践力を高めます。

この学びのサイクルを通じて、「今」とは違う、あなたらしい「未来」のジブンをデザインする力を身につけることができます。

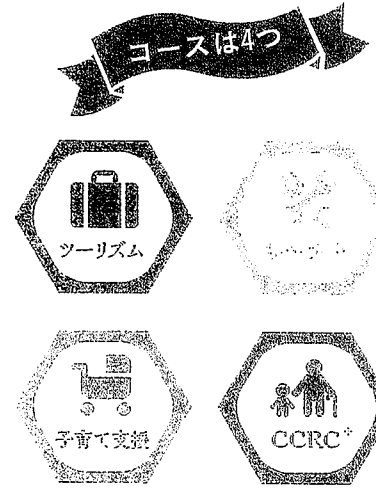


「未来」のジブンを デザインするための 学びのサイクル

未来を創る「力」を 育む

今日の地域・社会が直面する課題に取り組むことを通じて、自ら新しい未来を切り開くことの出来る創造的人材を育成します。

段階的に 育む「力」



知る&身につける 地域教養・専門基礎科目

- ◎地域が抱える問題を主体的に知る。
- ◎地域の問題を解くための専門的知識・スキルを身につける。

伝える&取り組む 専門発展科目

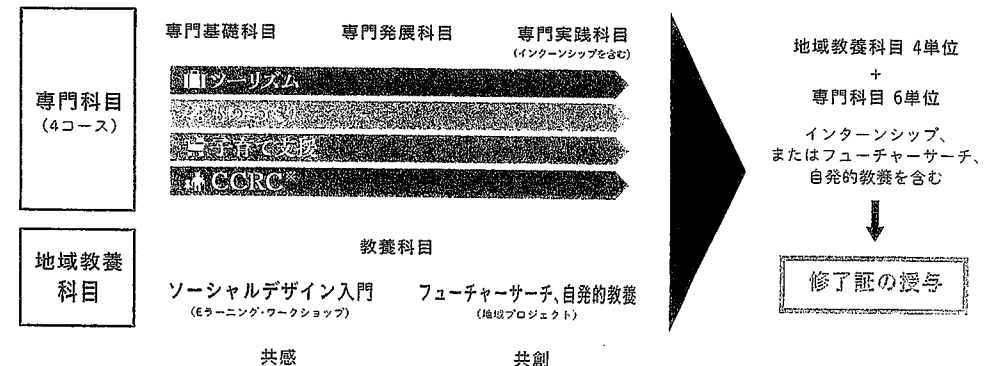
- ◎多様な情報を編集し分かりやすく伝える。
- ◎身につけた知識・スキルを用いて課題解決に主体的に取り組む。

磨く&広げる 専門実践科目

- ◎実社会において、知識・スキルに磨きをかける。
- ◎多様な人々との協働を通じて、自らのネットワークを広げる。

身につけた 「力」の証

地域教養科目4単位以上及び専門科目6単位以上（インターンシップまたはフューチャーサーチを含む）を修得した学生に本教育プログラムの「修了証」を授与します。



*:「CCRC」とは、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような「生涯活路のまち」づくりのことで、

未来の「暮らし働く」を自分らしくデザインするための通年プロジェクトです。このプロジェクトは複数の授業科目により構成されており、学生一人ひとりのニーズや興味関心にあわせて個別のイベントに参加することも出来ます。

将来、どのような道に進んだら良いか分からない、自分自身にどんな仕事に向いているか分からない、やまなしで暮らしたいけどどんな会社があるのか分からない、といった将来についての疑問や不安を、教員、社会人の皆さんと一緒に考えてみませんか？

きっと、あなただけの答えが見つかります！



JIBUN Design プロジェクト

STEP 1

目標を定める

やまなし JIBUN Design ワークショップ(1)

ワークショップを通じて、未来のジブンをデザインするためには何が必要なのかを考えながら、1年後の目標を設定します。そして、学生一人ひとりが設定した目標を達成するために、具体的なアクションプランを考えます。

STEP 2

企業や仕事を知る

One Day フューチャーサーチ

学生が、山梨県内の企業を1日訪問し、会社見学や社員の方との対話を通じて、将来の自分の暮らし方や働き方について考えます。

Tapestry Work&Activity

地元企業の経営者や社員へのインタビューを通じて、仕事のやりがいや働きやすさ、実現できるライフスタイルなどを見つけます。

STEP 3

自分を知る・伝える

やまなし JIBUN Design ワークショップ(2)

自己分析を通じて、自分自身の価値観や能力を再確認し、未来に向けてどのような暮らし方や働き方を実現したいのかを考えます。

ワークショップを通じて見つけた未来のやりたいジブンの実現に向けて、自分自身を伝えるためのスキルや表現方法などを磨きます。

STEP 4

社会とつながる

やまなし合同 JIBUN説明会

1分間のプレゼンテーションを通じて、今の自分自身の想いを社会に向けて発信することにより、企業や社会人との新たな出会いを生み出します。

3年生は、自信を持って就職活動をスタートすることを、2年生は、将来の就職活動に向けて、様々な地元企業を知ることを目指します。

キャリアデザイン実践(山梨県立大学)



山梨企業研究(山梨大学)
キャリアデザイン実践(山梨県立大学)



キャリアデザイン実践(山梨県立大学)



キャリアデザイン実践(山梨県立大学)



山梨企業研究

活動内容

- 企業研究の基礎(講義)
- 企業訪問・企業研究
- 成果発表及び地元企業との交流など

山梨大学 地域教養

企業活動、代表的な各種業界・業種などの知識、および山梨県における産業の動向やしくみ、現在直面する問題点などを理解する。その上で、各業界・業種の地元企業について研究することを通して、企業が存続・成長するために必要となる視点、新たな事業を展開していくために必要となる視点(ニーズ・シーズ、アイデア、実践力など)は何であるかを学ぶ。それらを通じて、自らの将来の働き方を考えるために必要な能力を身につける。

国際政策系キャリア形成(キャリアデザイン実践)

活動内容

- 自身のキャリアについてのマイルストーン設定
- 自身のライフデザイン設計
- イベントを通じた外部への発信

山梨県立大学 地域教養

自己分析やグループワークによるキャリアトークを通じて、これまでの学修の成果を自身のキャリア形成に活かすための基盤形成を行う。また、実践的なプログラムを通じて、自分自身の内面と向き合い、今後のキャリアパスについて内発的に行動への足がかりとする。



Miraiプロジェクト(前期・後期・集中) ※6~8ページを参照

※開催時期は若干変更となる可能性があります。

「Miraiプロジェクト」とは、様々な実践活動を通じて、各コースの専門性の強化や実社会で求められる実践力(社会人基礎力)の強化を目的として設けられた単位互換科目です。

地域教養では、地元企業・団体と学生が協働してプロジェクトを実施する「フューチャーサーチ」や、学生がより主体的にプロジェクトに取り組む「自発的教養」などが設けられています。

専門分野では、「ツーリズム」、「ものづくり」、「子育て支援」、「CCRC」の各コースにおいて、実践科目が設けられています。



山梨大学(単位互換)・山梨県立大学開講科目

フューチャーサーチ

Miraiプロジェクト
地域教養

地元企業・団体との協働により、地域における実際のプロジェクトに参加することを通じて、社会で通用する実践力を身につけるとともに、地域と自らの未来について考えます。

実施期間 2019年6月～2020年1月末まで

プロジェクト 30プロジェクトを想定しています。詳細は、4月上旬に公開します。

▶ やまなし未来計画WEBサイト <http://miraiken.yamanashi.jp/>



説明会&マッチングイベント

未来の「暮らす働く」を考える「やまなしJIBUN Designワークショップ」

2019年4月24日(水) 3年以上対象 山梨県防災新館オープンスクエア
2019年4月25日(木) 1,2年対象 山梨県立図書館多目的ホール

Miraiプロジェクトマッチングイベント「未来計画研究社入社説明会」

2019年5月9日(木) 山梨県立図書館イベントスペース

履修手続き 2019年4月4日(木)～26日(金)

手続き方法は、所属大学の教務担当または以下のお問い合わせ先まで。

未来計画研究社(山梨大学地域未来創造センター内)

TEL:055-220-8450 FAX:055-220-8702 E-mail:info@miraiken.yamanashi.jp

「Miraiプロジェクト」とは?

- 1 企業・団体が、学生と協働で取り組むプロジェクトを実施
- 2 学生は、授業科目「フューチャーサーチ」を通じて主体的に参加
- 3 課題発見、商品開発、資金調達など、目指すべき成果にコミット

2018年度のMiraiプロジェクトの数字は「やまなし未来計画」WEBサイトをご覧ください。
<http://miraiken.yamanashi.jp/mirai/>



イベント情報を
LIVE@でお届けします。
ご登録ください。



山梨大学(単位互換)開講科目

自発的教養(実践的キャリア形成活動)

Miraiプロジェクト
地域教養

学生による自発的な体験学習の機会を通じて、自律的かつ実践的な学びを継続していくよう支援することを目的として設けられています。具体的には、以下のテーマが設けられます。



『FAAVOやまなし』運営支援

テーマ:『FAAVOやまなし』による事業創発等支援

クラウドファンディングサイト「FAAVOやまなし」により事業化や社会課題解決等を目指す起案者に対して、プロジェクトのブラッシュアップやサイト作成、情報発信など、目標達成に向けた各種支援を行います。

協働先:やまなしクラウドファンディング運営委員会



『JIBUN Designプロジェクト』運営支援

テーマ:創造的解決プロジェクト

未来の「暮らす働く」を自分らしくデザインする上で学生が抱く将来への疑問や不安を解消するために、学生目線で「JIBUN Designプロジェクト」(4,5ページ参照)の企画運営をサポートします。

協働先:未来計画研究社



『学生イニシアティブ事業』

テーマ:創造的解決プロジェクト

特定非営利活動法人大学コンソーシアムやまなしが主催する、学生間や学生と地域社会との新たな連携創出を目的とした「学生イニシアティブ事業」に応募し、地域社会との連携・協働による新たなプロジェクトを実施します。

協働先:特定非営利活動法人大学コンソーシアムやまなし



『やまなしプロデューサー事業』

テーマ:創造的解決プロジェクト

学生の手で、地元企業の新たな魅力を発見・発信する新しい地域プロデューサーイベント「やまなしプロデューサー事業」に応募し、各学生の興味関心やスキルを活かしながら地元企業の魅力を発信し、社会との交流を深めます。

協働先:特定非営利活動法人大学コンソーシアムやまなし

「創造的解決プロジェクト」は、上記の他にも、学生による自発的な体験学習の機会を通じた自律的かつ実践的な学びが単位として認定されます。詳細は、本科目のシラバスをご覧ください。



公立大学法人
山梨県立大学
Yamanashi Prefectural University



拓殖大学
Takushoku University

やまなしMiraiプロジェクト+

No.33

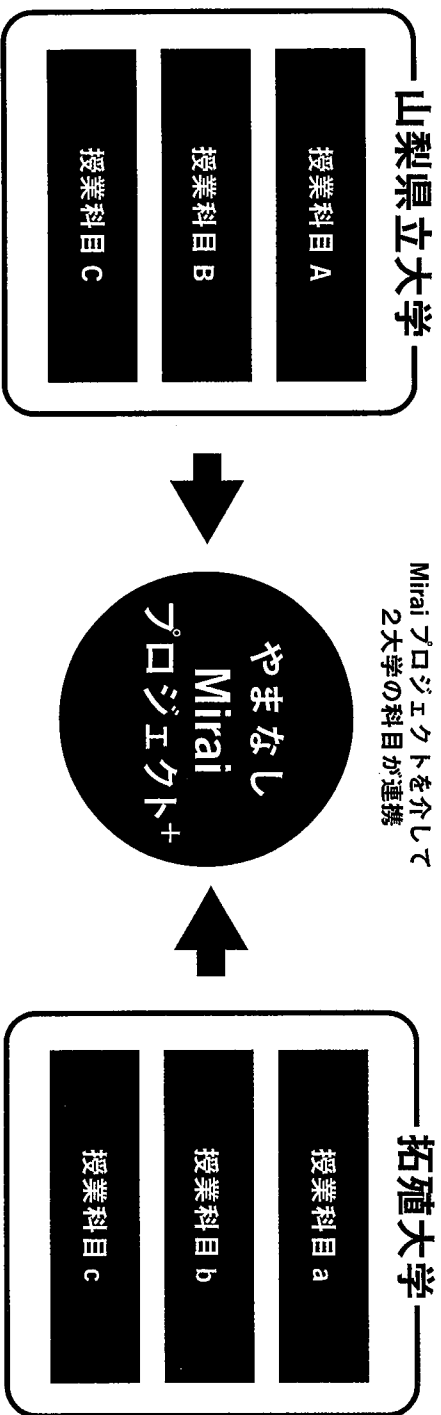
2019

やまなしで、
新しいジブンを
デザインしよう。



【やまなしMiraiプロジェクトとは】

山梨県内各地をフィールドに、山梨大学と拓殖大学が連携しながら実施するPBL（課題解決型授業科目）です。参加学生は、地元企業・団体と協働により与えられた課題に取り組みを通じて、専門性を磨くとともに、社会人として求められる様々な力（社会人基礎力）を身につけます。



この取組は、内閣府「地方と東京圏の大学生対流促進事業」の一環として行われています。

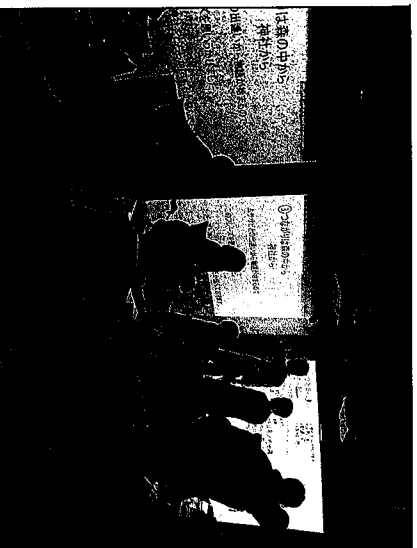
【目的】 東京圏と地方圏の複数の大学が学生の対流等に関して組織的に連携するとともに、東京圏の学生にとって地方の特色や魅力等を経験できる取組を推進することで、地方への新しい人の流れを生むとともに、地域に根差した人材の育成を図り、地方創生の実現につなげることを本事業では目指しています。

【まち・ひと・しごと創生本部 WEB サイト】

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/tairyuu_sokushin/index.html



【Miraiプロジェクト一覧】



産学連携した新しい山梨のお土産開発プロジェクト

県：課題演習 I・II 拓：国際特別講座「実践のまちづくり」

NEXCO 中日本との協働により、談合坂サービスエリアで販売するお土産の開発を行う。開発を通じて、学生は商品企画、販売についての知識と技術を身につける。

まちづくり合同ゼミ

「新しい地方創生のカタチづくり」プロジェクト

県：地域実践入門 I・II、地域理解演習 I・II 拓：ゼミナール（2年生～4年生）

富士川町を活動拠点として学生が地方創生に主体的に取り組む新しいカタチ作りを行う。学生が核となり行政、商工会、NPO 団体、中高生たちを巻き込み行動する事で地域住民の主體的な地方創生の取り組みを促し、住民の幸福度に寄与する事を目的とした継続的な地方創生プラットフォームの構築を目指す。





最先端の農業技術導入に向けた 農家連携プロジェクト

県：地域実践入門Ⅰ・Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：農業入門演習Ⅰ・Ⅱ

本プロジェクトの目的は、農産品の輸出拡大と世界最先端の農業技術の導入を目指し、東京と山梨の農家の連携を支援することである。農業技術に関する情報交換、農業に関する事業化、輸出の実践、情報発信の場づくりや、農業体験インバウンドツアーの企画等を実施する予定である。

空き家で「つながる住まい」プロジェクト

県：地域実践入門Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：デザインプロジェクト・演習

甲府市中心部の空き家を活動拠点に学生主導の地域コミュニティの核となるような新たな空き家活用の提案を行う。また本活動をより一般化し、今後の地方都市での空き家活用問題に対して大学（学生）からの提案を行うための基となる知見を得、地域コミュニティの幸福度に寄与する活動へと繋げる。



芦川活性化えんさプロジェクト

県：地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：デザインプロジェクト・演習

大学生を中心に若者世代視点で、兜造り家屋や田舎らしい暮らしが残る芦川町の地域資源を発掘し、交流拠点を整備し、縁側カフェ、軒先直売などのプログラムを作り出す。それにより、地域の経済活性化と人の交流を促進する。（えんさとは甲州弁で縁側の意）



笛吹市ひみね地区活性化プロジェクト

県：地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：国際特別講座「実践のまちづくり」

ひみね地区における観光客の増加に向けた取組や、地域活性化のための各種事業の推進や事業メニューの構築を行う。



Lab Prisma プロジェクト

県：地域実践入門Ⅰ・Ⅱ、地域理解演習Ⅰ・Ⅱ 拓：デザインプロジェクト・演習

地元企業や地域の魅力（＝情報）を発見し、それらを写真、映像、グラフィック制作によって可視化して様々なメディアで発信するためにオンラインイベントや各種イベントのプロジェクトを行う。それにより、映像制作にかかる専門的なスキルの習得や、プロジェクトスキルの強化を図る。



[活動拠点]

Casa Prisma

山梨県立大学フューチャーセンター“Casa Prisma”
地域と大学を結び、新たな価値創造を目指す活動拠点



Café Prisma

多様な地域課題のワンストップ相談窓口となる「Café」

Camp Prisma

多様な人々とともに課題を深掘りする「Camp」

Peak Prisma

メンバーとともに課題解決に向けてアイデアを練る「Peak」

Lab Prisma

よりクリエイティブな課題解決と価値創造を支援する「Lab」

経験豊富なコーディネーターが、プロジェクトの実施に向けてサポートします。

場所：山梨県甲府市丸の内 1-1-25 甲州夢小路 I 棟 II

地図：甲州夢小路 <http://koshuyumekouji.com/info/20181212.html>
オープン時間：平日 12～18 時（イベント開催時は、21 時）

利用料：無料

Facebook ページ： <https://www.facebook.com/coc.yamanashi.ken.ac.jp>

Twitter： https://twitter.com/prisma_casa



甲州夢小路



Casa Prisma
facebook



Casa Prisma
twitter

【やまなし Mirai プロジェクト+に関するお問い合わせ先】

□山梨県立大学 社会連携課 〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1 TEL. 055-225-5412 FAX. 055-225-1150 E-mail: ucrs@yamanashi-ken.ac.jp
□拓殖大学 拓殖大学地域連携センター 〒193-0985 東京都八王子市館町 815-1 TEL. 042-665-1421 E-mail: n1unok@otc.takushoku-u.ac.jp

やまなしアカデミアの再構築

～ 山梨大学と山梨県立大学の大学間連携強化構想 ～

2019.05.20
プレス資料（案）

連携の背景等

- 社会変化（グローバル化・Society5.0・AI等）への対応が急務 ⇒ 大学の役割拡大！
- 文・理の枠を越えた教育の実施 ⇒ スケールメリットを活かした運営や新たな展開が必要！

連携強化による大学改革推進・各種連携事業の円滑実施 ⇒ “連携協定”を締結
地理的要件・開設学問分野・運営基盤（適用法人制度）を考慮 ⇒ 両大学の連携効果が大きいと判断

連携の中核を担う“運営法人”を両大学で設立。山梨県の支援を受け事業を展開！

一般社団法人 大学アライアンスやまなし（仮称）



山梨県
Yamanashi Prefecture

行政と大学の密接な連携！
連携強化の取組みに協力！

まずは両大学が社員として参画する“一般社団法人 大学アライアンスやまなし（仮称）”を設立し、そのうえで、“全国初”の“大学等連携推進法人（仮称）制度※”による大臣認可を目指す！

※合併・統合・アンブレラ方式とは全く異なり、両大学の独立性は担保される。

事業Ⅰ：教育資源の相互提供

事業Ⅱ：強み・特色を活かした共同教育事業

事業Ⅲ：運営・業務の効率化

下記連携事業の早期検討に着手

◎：教養教育・教員養成・幼児教育・看護教育・人事交流

連携の効果

- Society5.0への対応や文系・理系双方を俯瞰できる人材を養成 ⇒ 全学生の多様性の向上！
- 大学機能の強化 ⇒ 学生ファースト（学生サービスの向上）⇒ 多様な修学・進路支援事業を展開！

地域への貢献

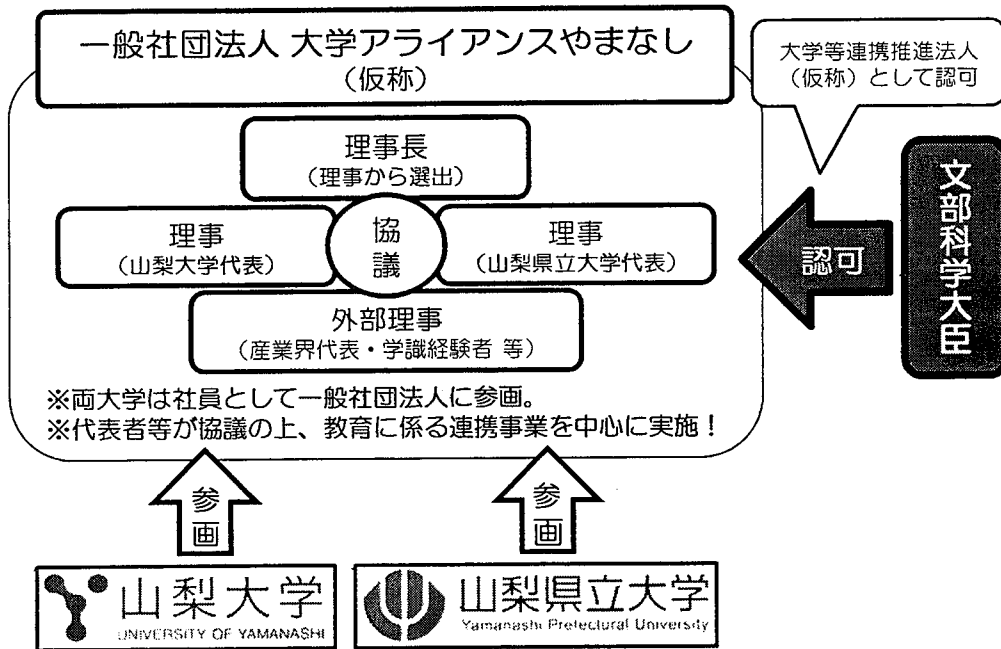
“高等教育の充実”による山梨県の活性化を実現！

- 地域の高度教育研究拠点を形成 ⇒ “教育レベルの向上”や“地方創生（医療・介護・福祉等の充実）”に寄与！
- 研究・シンクタンク機能を強化 ⇒ 先進技術の開発・研究などイノベーションの進展 ⇒ 山梨県のプレゼンス向上！

“大学等連携推進法人（仮称）”について（イメージ）

○ “大学等連携推進法人”とは・・・

制度の詳細は、現在、文部科学省で検討中ではあるが、現段階では、既存の一般社団法人の枠組みで設けた法人に対し、（教育上の規制緩和の対象となるものを）大臣認可する制度となるのではないかと想定されている（いわゆる“大学等連携推進法人（仮称）”という新しい法人制度を創設するものではない見込み）。



○ 「大学等連携推進法人（仮称）」として、大臣認可された場合、大学設置基準に係る要件が緩和されるなどのメリットが想定される。

○ “大学等連携推進法人（仮称）”制度は、各大学の独自性は担保しつつ、連携強化するものであり、既に幾つかの大学で構想されている“運営法人の統合”（いわゆるアンブレラ方式）や“大学の統合・吸収合併”とは全く異なるものである。

両大学の独立性を担保しつつ、連携事業を展開する！

想定される両大学で検討する事項（考えられる事業例）

検討事業Ⅰ 教育資源の相互提供

STEP 1

- ◎【教養教育】科目の相互提供
 - ・理系（梨大：情報・データ科学等）・文系（県立大：国際関係等）
- ◎【教員養成】
 - ・教育課題（学力低下・情報教育等）に対応できる即戦力教員の連携養成
- ◎【幼児教育】
 - ・学部専門教育の充実（幼保一体化に向けた高度人材の連携養成）
- ◎【看護教育】
 - ・附属病院での共同実習や専門科目の共同開講
- 【社会科学】
 - ・（県内の重要産業）“観光分野”に従事する専門家の育成拡充

検討事業Ⅱ 強み・特色を活かした共同教育事業

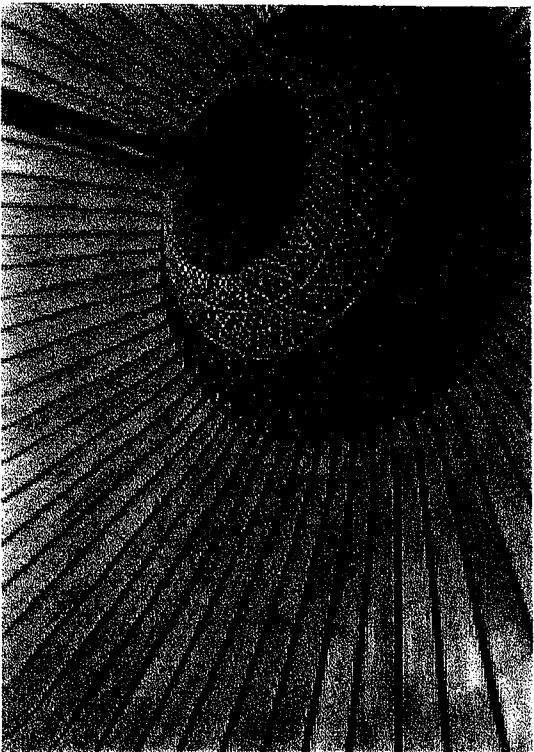
STEP 2

- 【幼児教育】
 - ・幼児教育分野のスペシャリスト養成に向けた教育プログラム開設の検討
- 【看護教育】
 - ・利点を活用（梨大：研究者、県立大：専門看護師）した大学院教育の検討

検討事業Ⅲ 機能強化に向けた運営・業務の効率化

- ◎【人事交流】
 - ・教員・事務職員・技術職員など、様々な職種間で交流人事を促進
- ◎ 教職員研修の合同開催や調達などの事務の共同実施
- 国家試験対策講座、合同企業説明会などの就職支援、防災訓練や災害時対応
- 図書館・体育施設など施設・設備を有効に活用

まずは、連携可能な分野の取組みについて、早期に検討を開始し、事業の実績を積み重ねていくことが重要。



2019 日本で生活する外国人のための
「日本語・日本文化講座」

場所： 山梨県立大学 飯田キャンパス A館6階
(甲府市飯田5-11-1)

受講料： 無料 (教材費は自己負担：2,000円～3,000円)

開催日 (いずれも日曜日) 13:00～15:00

- 5月 12日、19日、26日
- 6月 9日、16日、23日、30日
- 7月 7日 (文化講座：書道)、14日、28日
- 10月 6日、20日、27日
- 11月 17日
- 12月 1日、8日、15日 (文化講座：和太鼓)

2020年

- 1月 26日
- 2月 2日、9日

*12月15日の文化講座：和太鼓はB館講堂で実施します

For foreigners living in
Japan, "Japanese
language and Culture
Course"

为生活在日本的外国人开设
“日本語・日本文化讲座”

일본에서 생활하는
외국인을 위한 '일본어·
일본문화 강좌'

Para os estrangeiros
que vivem no Japão
"Curso de língua e
cultura japonesa"

Para los extranjeros que
viven en Japón "Curso
de lengua y cultura
Japonesa"

お問い合わせ先
山梨県立大学
社会連携課

055-225-5412

主催：山梨県立大学 / 甲府市
講師：山梨県外国人文化センター
オカシマ

2019年度

AIMY

いりょうつうやくけんきゅうかい
やまなし医療通訳研究会

医療通訳学習会のお知らせ

いりょうつうやくけんきゅうかい
医療通訳学習会 2年目突入！医療知識をbrush up！

日本語が話せず医療にアクセスできない人々がいいます。
家族の受診の通訳のために学校を休む子どもたちがいます。
日本語や医療知識が十分でないまま病院で通訳をする人もいます。
外国人医療には、リヌクが一杯！
ことばと文化の橋渡し、
医療通訳に必要な医療の基礎的な知識を学びませんか。

2019年度 AIMY 医療通訳学習会 予定

	日 時	内 容
第1回	6月22日(土) 9:50-16:00	基礎知識 (脳神経) / 医療倫理 在留資格について
第2回	9月7日(土) 9:50-15:50	基礎知識 (消化器) / 医療制度/ 通訳者のメンタルヘルス
第3回	12月7日(土)* 9:50-15:50	基礎知識 (小児) / 医療通訳の実際

毎回、言語ごとのロールプレイ学習があります。詳しい内容は裏面参照。

講師 (調整中の事項、詳細は決定次第、山梨県立大学 HP に更新します) :

第1回 新藤 裕治 (山梨県立大学看護学部)

井川 由貴 (山梨県立大学看護学部)

坂上 敬子 ((公財)山梨県国際交流協会)

第2回 小嶋 裕一郎 (山梨県立中央病院)

中田 梓 (山梨県立中央病院 MSW)

第3回 宗村 弥生 氏 (山梨県立大学看護学部) 他、調整中

場所：山梨県立大学看護学部 (池田キャンパス) 3号館 101 講義室

後援：(公財)山梨県国際交流協会

◆参加申し込みの方法

参加希望の方は下記メールアドレス
NDZに、①氏名、②連絡先
(電話、メール)、③参加希
望の回、④通訳言語 (おしく
は手話)、⑤届袋希望の有無
をご連絡ください。

参加費の振込：2回払い3
回一括振込の場合は初回参加
費の1週間前まで、また、
各回振込の場合は、開催日の
2週間前まで(下記の場合に
参加費をお振込みください)。

口座番号

山梨中央銀行本店

普通預金 20911294

◆参加費

*参加費 各回2000円
*届袋代(飲み物込)1000円
*届袋を希望する可也、参加費
と併せてお振込みください。
*参加費は、3回分一括振込
の場合、5000円です。

届袋を一緒にいただける方の
医療通訳者を目指すもの同志
親交の架け橋です。

◆受講ポイント

講義でテキストを発行し
ます。前年度の受講ポイント
追加費のみ、ポイント数が一
定数を超えている場合、修了
証を発行します。

◆AIMY 今後の活動予定

医療通訳フェスティバル

2020年2月11日 (日)

医療通訳セミナー

(公財)山梨県国際交流協会共催

2020年6月1日(日) (予定)

◆手話通訳の方向性を探る迎

連絡先:

aimy@yamamashi-
ken.ac.jp
(AIMY 代表 長坂)

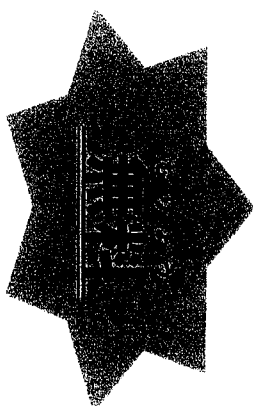
日本語を母語としない児童・生徒さんや日本語を学びたい方のための

学習支援教室

山梨県立大学 国際ボランティアクラブ(IVC) 主催

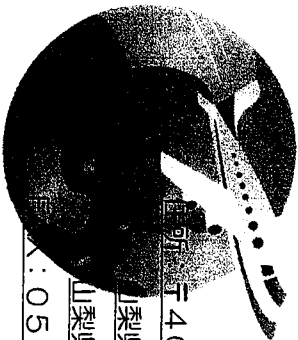
日時 毎週 金曜日 18:00~19:30

場所 山梨県立大学 飯田キャンパス A館4階 A401

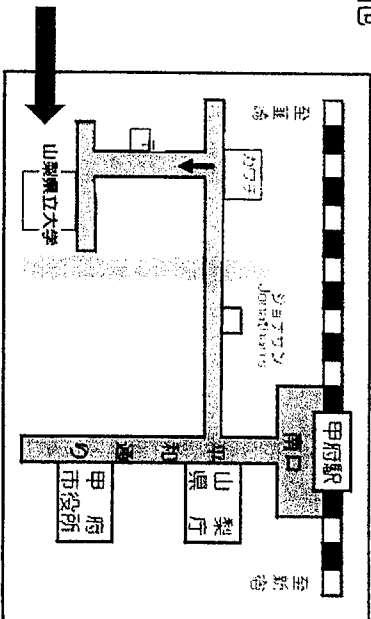


内容 日本語・国語・漢字・算数・理科・社会・宿題 など

対象 小学生・中学生・高校生・その他



〒400-0035
山梨県甲府市飯田5-11-1
山梨県立大学 萩原研究室
TEL:055-228-6819



お問い合わせ：山梨県立大学国際政策学部国際コミュニケーション学科 TEL:055-224-5261

■ 2019年前期のクラスは、4月26日からはじまります!! ■

申込書は、山梨県立大学(国際コミュニケーション学科 萩原研究室)まで、郵便かFAXで送ってください。

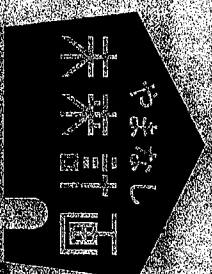


学習支援教室 申込書

名前	年齢	学校・学年	母語	
電話番号				

- 山梨県立大学
- 山梨学院大学
- 身延山大学
- 山梨英和大学
- 大月短期大学
- 山梨学院短期大学
- 帝京学園短期大学

やまなし JIBUN Design プーミング ヨツプ



未来の「喜らす働く」を教える2日間

山梨県内の学生と教員が、10年後の未来の社会とその中での「喜らす働く」について考える2日間。専ら、開校10周年の「間」が受け入れ、話題提供者となる教員プレゼンテーションの機会が、学生と教員とを結び、参加者一人ひとりがその価値を探ります。

3年生以上対象

1、2年生対象

2019/4/24(木)
18:30～20:00

2019/4/25(金)
18:30～20:20

参加
申し込み

<http://miraiken.yamanashi.jp/news/1504/>

※このイベントは「国際政策キャリア形成(キャリアデザイン実践)」「山梨県立大学・単位互換科目」の一部として行われます。
※山梨県立大学「キャリアデザインI」及び「キャリアデザインII」履修者は、出来るだけこのイベントに参加して下さい。



イベント情報をLINE®でお届けします。ご登録ください。

主催

Facebook:<https://www.facebook.com/miraiken.yamanashi/>

やまなし JIBUN Design ワークショップ

多岐な学生との対話を通して、未来に向けた「問い」について考えます。

3年生以上対象

W 山梨県防災新館オーブンスクエア

2019 4. 24 日 18:30 → 20:30

テーマ 「暮らす働く」

問い

10年後、あなたはどんな暮らし方をしたいイメージをしていますか？
その中で、あなたが大切にしたいことは何ですか？
それを実現するために、今、何が必要ですか？かな？

1、2年生対象

山梨県立図書館多目的ホール

2019 4. 25 日 18:30 → 20:30

テーマ 「学び」

問い

「学び」って、何を指しますか？
学生時代に「学び」したいことは何ですか？
それを実現するために、今、何が必要ですか？かな？

「問い」を聞いてみる

大学に入ったけど、
どんなことを
学べばいいのかな？

自分のやりたい
ことは、
一体何だろう？

今年度は就活だけど、
何をしたら
いいのかな？

また、将来のJIBUNをデザインするのに
役立つ科目もご紹介します。

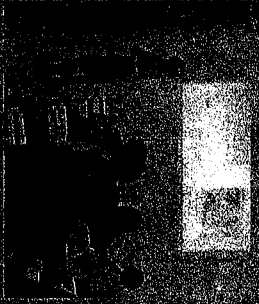
JIBUN Design
プロジェクト



自発的教養 (実践的キャリア形成活動) 山梨大学 (単位5換) 開講科目

山梨企業研究 山梨大学 (単位5換) 地域教養

●「FAAVO」やまなし」による事業創発支援
●創造的解決プロジェクト



企業を自らデザインする力を
身につけるための知識、および
血のつながりを持つ企業との協働
やしく関係を構築し、企業
を育てる力を身につける。
「FAAVO」やまなし」による事業
創発支援プロジェクト



お問い合わせ先



未来計画研究社



未来の「暮らす働く」を考える2日間

山梨県内企業訪問

【日程】 8月2日(木)

【場所】

①株式会社アルプス 業種: 飲食、小売、サービス
実施場所: 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1F やまなしプラザ内
担当者: 金丸 滋さま
Tel: 055-275-4331(事務所) / 055-298-4081(まるごとやまなし館)

②株式会社光・彩 業種: 貴金属製品の製造業
実施場所: 本社(山梨県甲斐市竜地3049番地)
担当者: 天野未貴さま
Tel: 0551-28-4181

③昇仙峡ロープウェイ 業種: 索道業
実施場所: 本社(山梨県甲府市猪狩町441)
担当者: 芦澤さま
Tel: 055-287-2111

【内容】 会社説明、会社見学、社員との意見交換

行程(案)

9:30	拓殖大学出発	
(移動: 1時間30分)	↓ (10:50 県立大学出発)	
11:00～13:30	株式会社アルプス+お屋※	訪問: 2時間30分
(休憩・移動: 25分)	↓ (13:40出発予定)	
13:55～15:20	株式会社光・彩	訪問: 1時間25分
(休憩・移動: 50分)	↓ (15:25出発予定)	
16:10～17:10	昇仙峡ロープウェイ	訪問: 1時間
	↓ (17:15 昇仙峡出発 / 17:40 県立大学着)	
19:15ごろ	大学着	

※株式会社アルプス(やまなしまるごと館)で、食事。(自己負担: 1000円以内)

やまなしで暮らしたいけど、自分のやりたいことがわからない。
やまなしで働きたいけど、どんな会社があるのかわからない。

1日
会社訪問



「One Dayフューチャーサーチ」は、学生の皆さんが、山梨県内の企業を1日訪問し、会社の見学や社員の方との対話を通じて、将来の自分の暮らし方や働き方について考える、ライブデザイン・イベントです。
様々な企業の皆さんと、未来について話をしてみませんか？



参加資格

やまなしで暮らすことや、働くことに
関心のある山梨県内外の学生の皆さん
※学年は問いません。

登録
参加費

参加費 無料
※ただし、ご自宅から訪問企業や甲府
市内までの交通費は自己負担とな
ります。

参加
条件

7月23日(月)～8月7日(火)の間で、山梨
県内の企業*を1社以上訪問し、その感
想や写真をSNSで発信してください。

8月10日(金)午後に甲府市内で開催予
定の「One Dayフューチャーサーチ成果
報告会」及び地元企業と学生との交歓会
にご参加ください。

*受け入れ企業一覧は申込先のWEBサイトをご覧ください。



参加者募集

平成30年

6月30日(土)

参加
締め切り

※このイベントは「山梨企業研究」(山梨大学単位互換科目)の一部
として行われます。



なしの企業で、未来の話をしよう

地方と東京圏の大学生対流促進事業 ランチミーティング 及びOneDayフューチャーサーチャーズ交流会

【日程】 8月10日 (金)

【場所】

山梨県立大学 C館101,102
住所：山梨県甲府市飯田5-11-1
電話：055-225-5412 (社会連携課)

山梨県防災新館やまなしプラザ1階オーブンスクエア
住所：山梨県甲府市丸の内1-6-1
電話：050-5846-2962

【内容】

学生交流会 (県立大学内)
企業訪問報告会・参加企業交流会 (防災新館やまなしプラザ)

【行程】

9:30	拓殖大学発 ↓	
11:30	県立大学着 ↓	※バスはA棟前に駐車できます
11:40	学生交流ランチミーティング ↓	※昼食は各自持参をお願いします
12:45	県立大学発 ↓	
12:55	防災新館やまなしプラザ着 ↓	
13:00	OneDayフューチャーサーチャーズ交流会 ↓	
16:30	防災新館やまなしプラザ発 ↓	※道路の混雑状況により時間が早まる場合があります
18:00	拓殖大学着	

※お昼は各自持参にてお願い致します。

【参加者】

拓殖大学 徳永先生 工藤先生 永見先生 学生8名 教員1名 (甲府より)
山梨県立大学 学生6名 兼清先生 杉山先生 佐藤理事 小池事務、最川

「H30 インターネット講座」

5月9日 (水) 16時30分～18時

講師：白杵 肇 (野村証券シニアフアイナンシャルプランナー)

テーマ：世界および日本における政治・経済・社会構造の変動等の話題を中心に、
若者 (県立大学生) の未来への助言

5月23日 (水)

講師：岡本新一 (山梨中銀経営コンサルタント 部長)

テーマ：山梨県の経済・産業、歴史・文化等の魅力再発見を中心に、ふるさと山
梨の地域理解

6月6日 (水)

講師：米谷正児 (リコージャパン山梨支社長)

テーマ：山梨県の著名企業経営者による経営理念や人生観を中心に、仕事を通し
た社会貢献につき県立大学生への助言 (その1)

6月20日 (水)

講師：高野孫左衛門 (吉字屋代表取締役社長)

テーマ：山梨県の著名企業経営者による経営理念や人生観を中心に、仕事を通し
た社会貢献につき県立大学生への助言 (その2)

7月4日 (水)

講師：豊前貴子 (豊前医化代表取締役社長)

テーマ：山梨県の著名企業経営者による経営理念や人生観を中心に、仕事を通し
た社会貢献につき県立大学生への助言 (その3)

7月18日 (水)

講師：田中理一郎 (みずほ銀行甲府支店長)

テーマ：山梨県の著名企業経営者による経営理念や人生観を中心に、仕事を通し
た社会貢献につき県立大学生への助言、及び前回までの講師を交えたデ
ィスカッション等により、県立大学生の職業観育成を図る (その4)

7月25日 (水)

講師：岡本新一講師の短時間講義の後に、前回までの経済同友会講師陣の参加によって
県立大学生との意見交換を行い、学生の就職活動への手助けとする。

2019年度公立大学法人山梨県立大学人事方針

公立大学法人山梨県立大学教員選考規程第2条に基づき、平成31年度の山梨県立大学人事方針を次のとおり定める。

- 1 大学の理念と目的並びに学部及び研究科の教育理念と目標を達成するため、学部及び研究科ごとに中長期的な計画の中で、定められた手続きに従い採用及び昇任の選考を適切に行う。
- 2 採用及び昇任の選考は、ダイバーシティの観点を尊重しつつ、原則として、公募による複数選考で行う。
- 3 定年退職者等の補充に係る採用に際しては、教育組織の活性化に資する優秀な若手人材の積極的な活用を図る。
- 4 非常勤講師の配置は、その必要性を十分精査して行い、高い専門性を有することはもとより、地域や学生のニーズ及び時代の要請に応えうる優秀で多様な人材の活用を図る。

2019年度公立大学法人山梨県立大学人事方針に係る重点項目

- 1 各学部等は、中期的な人事計画に沿った人事を遂行すること。
- 2 引き続き外国人、女性、若手の採用等に十分配慮した人事を行うこと。
とくに外国人教員については、常時6人以上を維持しながら、第二期中期計画期間中にさらに1～2名の増員を図る。

(留意事項)

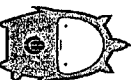
1. 在職中の専任教員に係る昇任人事を推進するように努める。
2. 優秀な教員確保のため、公募、複数選考を原則とするが、必要に応じて特定候補者についての単独選考も実施することができる。
3. 人事の公正性、透明性を高めるため、可能な範囲で、専門外の専任教員（他学部もしくは他学科等）を選考過程に参画させる。

*上記の人事方針及び重点項目に加えて、教務、入試、国際交流、キャリア支援等の職員人事において、専門職の観点から効果的な配置を行うよう努める。

山梨県立大学 HP 「5分で分かる山梨県立大学」



でわかる！
山梨県立大学



かかると！

国際経済学部

人間福祉学部

看護学部

卒業生の声

在学生の声

就職率
99.6%!

寺田「がわ」がわ！
指導でわ！
自信

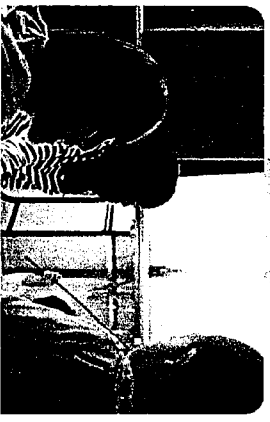
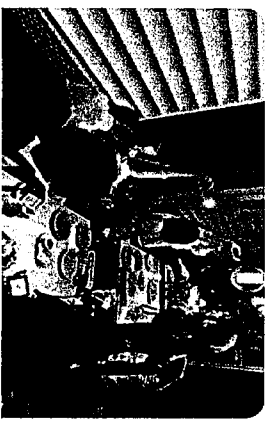
!!

教員1人あたり

学生は 約12人

山梨は
生活費が安い!
東京の半額?

1/2



池田キャンパス防災訓練実施要領

No.54

- 1 日 時 平成31年4月9日(火)午前9時50分～10時30分
※雨天中止(実施の可否は、午前8時30分頃までに決定)
- 2 訓練内容 地震発生時の避難及び避難誘導訓練
- 3 参加者 教職員(約60人)及び学生(1～4年生約400人、大学院生約20名)
- 4 目的 消防法第8条第1項に基づき避難訓練を実施し、災害発生時に学内にいる全ての方が安全かつ迅速に避難及び避難誘導が行えるようにする。
- 5 実施内容
 - 8:50 訓練予告(校内放送により、防災訓練実施を周知)
 - 9:50 地震発生(訓練)
 - ・校内一斉放送により「震度6弱の地震発生」を通知
 - ・教員から安全確保について口頭で学生に指示
 - 9:53 防災報知器作動(訓練)
 - ・校内一斉放送により、「火災が発生しました。速やかに避難して下さい。」を連絡
 - 9:55 教職員は学生を誘導し、グラウンドへ避難させる。
 - ・グラウンドの指定場所にチャーター別に集合
 - ・チャーターリーダーは、避難に係る被災状況(怪我人等はいないこと)を事務局次長に報告
 - 10:09 事務局次長は、事務局次長に避難時における大学院生の被災状況を報告。
 - 10:10 初期消火訓練(消火器の使用方法説明、消火器取扱い訓練)
 - ・教員は、学部長の指示により被災状況を確認し、事務局次長へ報告。
 - ・池田事務室長は、事務局次長に避難時における事務局職員の被災状況を報告。
 - ・学部長は全体状況を把握。
 - 10:25 学部長による講評
 - 10:29 事務局防災担当者からの安否確認訓練を実施することの事務連絡
 - 10:29 避難誘導訓練終了(学生解散)
 - 10:30 全体訓練終了

全体訓練終了後、授業のない教員についてはトランシーバーの使用について訓練。
全体終了後 災害時安否確認の実施。(学生・教員)

- 6 その他
 - ・学生の避難誘導及び避難場所での整列はチャーター教員が行い、報告(怪我人の発生状況)は、チャーターリーダーが行う。
 - ・整列および避難経路は別紙のとおりである。
 - ・災害時安否確認報告アドレス

◇学生(看護学部) saiagai1@yamanashi-ken.ac.jp

◇教職員(池田C) saiagai@yamanashi-ken.ac.jp

・学生・教員の安否確認訓練の結果は、事務室が取りまとめる。安否未確認の学生について、緊急災害対策会議構成委員(本部)の学生厚生委員長からチャーター担当教員に連絡し、安否確認について指導する。

平成 31 年度山梨県立大学飯田キャンパス防災訓練実施要領

- 1 目 的 山梨県立大学飯田キャンパス消防計画第 17 条に基づき、地震及び火災発生時に、学内にいるすべての者が安全かつ迅速に避難及び避難誘導が行えるようにすることを目的とする。
- 2 日 時 平成 31 年 4 月 8 日 (月) 11 時 30 分～12 時 00 分予定
※雨天時は、11 時 30 分から 5 分程度の予定
- 3 訓練内容 ①通報、連絡訓練
②避難誘導訓練
③初期消火訓練 (水消火器による消火体験)
※雨天時は、①のみの実施
- 4 参 加 者 教職員、学生等学内にいるすべての者
- 5 実施内容 11:30 訓練開始
 - ・ 構内一斉放送により「震度 5 強の地震発生」を周知併せて、身の回りの安全を確保するよう指示
 - 11:33 火災報知機作動 (訓練)
 - ・ 構内一斉放送により「火災発生」を連絡
 - ※雨天時は、以上で終了
 - 11:37 避難指示放送 (訓練)
 - ・ 構内一斉放送により「避難開始」を連絡
- 6 役割分担 別紙「分担表ならびにスケジュール」参照 (該当者のみ)
- 7 避難経路 別紙「避難経路」参照

オリエンテーション担当教員を中心に、
グラウンドの指定場所に学生を学年別に集合させる。
各担当職員は、自衛消防隊長に避難完了を報告。

11:50 水消火器体験
11:55 学長による講評
12:00 訓練終了

No.54

▶ 出勤簿(月次) - / 2019年5月度

労働日数				労働時間				本日時点休前残日数			
所定労働日数	19日	実働日数	10日	実労働時間	84:54	実残業時間	04:54	残日数	0.00	代休	0.00
平日出勤日数	10日	休日出勤日数	0日	実残業時間	00:00	平日労働時間	84:54	振替	0.00		
欠勤日数	1日	遅刻日数	0日	平日残業時間	04:54	平日残業時間	00:00				
早退日数	0日			休日労働時間	00:00	休日残業時間	00:00				
				休日残業時間	00:00						

日付	休日区分	勤怠状況	シフト	出勤時刻	運動時刻	労働時間	休憩時間	残業時間	深夜時間
05/01(水)	〓								
05/02(木)	〓								
05/03(金)	〓								
05/04(土)	〓								
05/05(日)	〓								
05/06(月)	〓								
05/07(火)	〓			08:14	16:30	08:16	01:00	00:16	
05/08(水)	〓			08:30	18:00	08:54	01:00	00:54	
05/09(木)	〓			08:30	18:04	08:38	01:00	00:38	
05/10(金)	〓			08:30	18:12	09:02	01:00	01:02	
05/11(土)	〓			08:30	17:19	08:07	01:00	00:07	
05/12(日)	〓								
05/13(月)	〓	欠							
05/14(火)	〓			08:30	17:15	08:22	01:00	00:55	
05/15(水)	〓			08:30	17:15	08:18	01:00	00:43	
05/16(木)	〓			08:30	17:15	08:20	01:00	00:10	
05/17(金)	〓			08:30	17:15	08:11	01:00	00:04	
05/18(土)	〓								
05/19(日)	〓								
05/20(月)	〓			08:30	17:15	08:12	01:00	00:05	
05/21(火)	〓			08:30	17:15	08:30	08:05		
05/22(水)	〓			08:30	17:15	08:30			
05/23(木)	〓			08:30	17:15	08:30			
05/24(金)	〓			08:30	17:15	08:30			
05/25(土)	〓								
05/26(日)	〓								
05/27(月)	〓			08:30	17:15	08:30			
05/28(火)	〓			08:30	17:15	08:30			
05/29(水)	〓			08:30	17:15	08:30			
05/30(木)	〓			08:30	17:15	08:30			
05/31(金)	〓			08:30	17:15	08:30			
合計						84:54	09:00	04:54	00:00

参考資料3

平成30年度 県内大学新聞記事掲載件数集計（山梨日日新聞）及び本年度の本学関係の本学関係の主な記事（4月～5月）

大学名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
山梨県立大学	12	16	18	12	12	20	17	10	8	8	10	13	156
※1山梨県立大学	1	1	0	0	2	0	0	11	7	3	2	3	30
山梨県立大学計	13	17	18	12	14	20	17	21	15	11	12	16	186